

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401848		
法人名	おおいし有限会社		
事業所名	グループホーム おおいし		
所在地	〒854 - 0302 長崎県雲仙市愛野町乙1161番地2		
自己評価作成日	平成21年11月13日	評価結果市町村受理日	平成22年1月21日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kai-go-kohyo.jp/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855 - 0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成21年12月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・月に1回の外出(外食・季節等の見学)・敷地内にあるデイサービス利用(デイサービスの状態にて利用可能)・一年に一度の一泊旅行
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム周辺は農地に囲まれ、近隣の住宅地へと続く道は利用者の散歩コースにもなっており、長閑な環境に恵まれている。同一敷地にデイサービスや賃貸住宅があり、交流する事で利用者の活性化に繋げている。「入居者を選ばない」を基本姿勢としており、ホームの力量を考慮しながら可能な人は受け入れている。施設長の家族全員で関わり、家庭の延長として利用者を巻き込み、深い絆で結ばれている。毎年一泊旅行(利用者・職員とその家族・利用者の家族は食事のみの参加等)や外食を実施しており、ホームに居ながら一般的な生活を支援している。施設長が職員と個別に対話して状況の把握に努め、意見や要望を聞いて待遇面を考慮されており、職員の離職も少ないようである。ホーム内ではケアの共有ができ、利用者の安心感につながっており、皆さん穏やかで、笑顔で過ごされている。家族的な雰囲気の中で、此处には大家族の生活を感じることができ、今後の取り組みが期待できるホームである。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「想」の理念を掲げ家族的で楽しくをモットーに支援を行っている。	「相手の事を心より思う」「家族の一員として対応を心がける」「良質な介護サービスの提供をする」を総称し「想」として理念を掲げ、優しく利用者の思いを受け止め、管理者や職員が一丸となって、日々の生活を支援している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敷地内のデイサービス利用・秋祭り参加・地域の文化フェスティバル参加、出展・地域の夏祭参加、見学	同一敷地にデイサービスがあり、地域の人を利用しており、交流を図っている。ホームの周辺は畑であり、散歩時に声掛けをし、時には野菜を頂いている。町内会長から習字を教わる・秋祭りのフラダンス・体験学習の受託等、日常的に地域とは相互的な交流に努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営委員会・秋祭り等に地域の人に参加して頂き入居者様の状態を見られたり、質問等に答えています		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議を活かして地域の町内会、老人会、中学校の方々に参加して頂き、ホームの状況、認知症、介護保険等の実態を報告、説明等を理解してもらえるように努めている。	今年度は4～5回の開催である。市町村の担当者の予定を優先する事で、家族の参加が困難であり、会議録を報告している。町内会長を始め、老人会の代表や、体験学習を受託している学校の先生の参加があり、多種の構成メンバーである。	家族の参加が困難な状況は理解できるが、運営推進会議のメンバーとしては欠かせない存在である事を理解していただき、積極的な参加を期待したい。また、1年に6回の開催を目標とし、充実した会議内容に向けた取り組みが望まれる。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	職員採用時に雲仙市内の居住者を採用しながら各地域のイベントに参加しやすい方向に繋げている。	市の文化祭に作品(習字・レース編み・手作りの品等)を出展している。市町村とは、気軽に質問や指導を仰ぐ事ができ、市の職員がデイサービスの用事の時に立ち寄る事があり、相互関係が出来ている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠や身体拘束に繋がる行為は行っていないがやむを得ない場合は家族に説明、理解を頂いた上で実施、記録にとどめる。	身体拘束のマニュアルを作成し、実施・記録の書式を準備しているが、現在実施が必要な利用者はいない。職員間で拘束に関する話し合いをする事があり「好きな事をしてもらう」を基本姿勢としてケアに努めている。見守りにより、施錠の実施はなく、利用者は自由に玄関の出入りをしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会に参加し全職員資料に目を通し、会議にて報告している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度に関しては理解しているが、今現在、活用する対象者が居ません。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明を行い理解の上入居可能としている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	直接代表者との話し合いで意見、要望を家族が伝えている。その後プランに取り入れている。	利用者は自由に希望を伝え、その都度検討し、できるだけ取り入れている。家族は、利用者に関するお願いが多く(一番風呂等)、可能な限りサービスに反映している。傾聴の姿勢で、意見や希望は多いが、記録の記述がない。	預けているが故にいけない家族の意見は非常に貴重なものであり、意見の受付 検討 実施 結果報告の一連の流れを記録に残すと同時に、職員の研修に活用される事を期待したい。
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の会議において意見交換や代表者との個々の面接において意見を述べている。	毎月会議を開催し、ケア面・研修・行事等、職員の意見や希望を聞き運営に反映している。施設長が年1~2回直接個人面談を実施し、職員の状況の把握に努めている。また、給与面や休暇(職員アンケートの実施)に対する配慮もしている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の職員の状況に合わせた労働時間の配慮や職員の親睦会等を行っている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得の為の研修、試験には積極的に参加させる。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他ホームへの研修を取り入れている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居後本人の状態を見極め話しかけたりしながら安心できるよう心がけている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時に家族の要望を聞きプランに取り入れている。新たな要望に関してはその都度取り入れている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>まずは本人の行動、病状を観察しその後家族との話し合いにて支援援助に繋げる。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>趣味や特技分野をいかして職員と共に楽しむ</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の協力を得ながら一時帰宅を取り入れながら共に支援援助をしていくようにしている</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの地域、外食や施設等の場所を取り入れながらホーム行事を行っている</p>	<p>利用者の家族は頻繁に来所している。施設長のお孫さんが友人と立ち寄り、時には近所の方が遊びに来られている。また、同一敷地のデイサービスで懐かしい人と会う事があり、馴染みの関係継続に努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合う入所者同士は隣同士に座って頂いたりの配慮をし居室訪問にも繋げている</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の入院に際し洗濯物をホームで行ったり又家族に変わり状況、状態の確認を行い連絡をとっている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	外出の希望等職員との話し合い等で意向を汲み取るよう努めている	利用者の事は基本情報で大まかに分かるが、職員の交代が少なく、詳細な伝達できており、一人ひとりの思い・希望・意向の共有が出来ている。今後看護面の一覧表を作成予定である。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族からの聞き取り等に努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日3回のバイタルチェックにより心身状態の把握等に努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一回の会議にて話し合いを持ち意見を取り入れている	毎月の会議でケア面に関する話し合いを実施し、アセスメント(3ヶ月毎実施)や家族や利用者の希望を加味し、詳細なサービス内容の計画を作成している。計画の実施状況を把握するモニタリングの実施の確認ができず、また、継続に至った経緯が不十分である。	介護計画の実施状況を把握するモニタリングは必須であり、評価内容を明確に把握する事や、次の計画作成時に活かすためにも、モニタリングの実施をお願いしたい。また、継続に至った経緯やアイデアや意見を反映し、現状に即した介護計画の作成を期待したい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個々の様子をカルテに記載「午前・午後」 気づきは申し送り帳に記載情報を共有している		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族からの急な外出の希望等に対し柔軟に希望に添えるよう支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の文化祭出展		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医に通院出来るようにし医師とも連携を取っている	利用者は入居以前からのかかりつけ医に通院したいとの希望があり、遠距離でも職員が同行している。状態変化時はかかりつけ医に連絡し、指導を仰いでおり、健康管理には十分配慮している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の出勤日に報告・相談を行い対応している。又急な時は電話連絡を行い指示を伺う		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は本人に面会時に病院関係者とも会い情報交換や相談をしている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた方針はありますが、現在該当はありません	現在までに看取りの経験は無い。利用者を選ぶ事は無く、胃瘻の人も受け入れていたが、状態の重症化に伴い、家族の意志を尊重し、入院になることが多い。常に話し合いは行っているが、体制作りまでは至っていない。今後、医師と家族の話し合いにより、前向きに取り組む意向である。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員救命救急の講習に参加し講習修了書を持っている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営委員会に地域の自治会長さんに参加して頂いている為、一緒に火災・災害等もお願いしている	年2回夜間に重点を置き、消火・避難訓練を消防署立会いと、自主的に実施している。地震に対するマニュアルは作成しているが訓練実施はない。また、備蓄(水・缶詰・乾パン等)・持ち出し品の準備も行っている。	何時如何なる時に起こるか分からない災害や、火災等を考えると不安材料は多々考えられる。是非職員間で訓練の繰り返しと、不安材料の具体についての話し合いの実施が望まれる。また、備蓄(2～3日の食料・生活必需品・携帯コンロ等)・持ち出し品など必要品のリストチェックの作成を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	失禁時等さりげない声掛けで他の入居者に分からないようなトイレ誘導や居室からの洗濯物・汚染物等は新聞紙で包んで捨てる等配慮している	利用者を年長者として尊重し、親しい中でも声掛けには注意を払いながら接する事を念頭に置き、ケアに努めている。時には施設長が利用者や外部の人の目に留まらない場所に注意事項を貼り、訓告する事がある。早急に、個人情報の利用目的と個人情報保護に関する方針の掲示が望まれる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の会話の中で本人の希望等さりげなく聞きだすようにしている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望を取り入れベッドで休ませたりテレビ視聴されたり散歩に一緒に行ったりと支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が同意した服を本人が嫌がったりしたら本人の気におる服に替えたりしている。男性入居者への髭剃りも行う		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の能力により食事を飲み込みやすいよう、刻み食にしたりし食事と一緒に食べながら支援している	食事に関する一連の作業を通じた利用者の力の発揮をお願いしている。食事は美味しいものをとの考えで、栄養士がカロリー計算を行い、利用者の希望を取り入れ、刻みやお粥等、食べやすい状態で支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日三度の食事量・水分量をチェックし、ひとりひとりの状態把握に努めている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後共同洗面所にて、うがい・歯磨きを行っている。ひとりで出来ない入居者に対しては職員が介助を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ひとりひとりの排泄時間の把握に努めトイレ誘導をし、昼間は布パンツで過ごせるよう支援している	排泄チェックシートには自己で困難な人を記録し、トイレでの排泄に向け尽力している。パターンの把握で日中は下着で過ごす事に努め、必要に応じパットで対応している。夜間はポータブルや尿器を使用し、居室で鈴やコールで察知し、支援している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排泄をチェックし水分の補給や運動、又は医師・看護師と相談しながらの調節を行っている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週三回～四回の入浴を支援しているが、毎日入浴の準備はしており個々に対応している	午後1時～4時が入浴の時間として、殆ど毎日入浴可能である。拒否者は、機嫌やタイミングを見ながら、毎回声掛けし、週3～4回の入浴を支援している。夜間にリハビリパンツを使用している人は、毎日洗浄を行い、清潔保持に努めている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はベッドでの休息やソファでの居眠り等、個々に対応している。又、夜間は眠くなるまでテレビ視聴する等その時に応じて対応している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についての説明書等わかりやすいようカルテに閉じ目を通して。薬の服薬は職員が行い本人の体調に目を配っている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	花いけをしたり習字の練習等入所様の好きな事に取り組んでいる		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	朝からの散歩、月一回程度の会食又は年1回の一泊旅行等家族にも協力を求めながら行っている	自立または介助しながら毎日3～4人がデイサービスに遊びに行き、ホームから外出している。買い物・帰宅(法事・盆・正月・家族の帰宅時等)・墓参り・外食・一泊旅行等、年間計画を立て、日頃行けない場所への外出を含めた、多岐に亘る支援を実施している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る方は自己管理され外出等に使用されている。他の入居者様は外出時に職員管理のもと買物をしたりしている		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に沿って行っている		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ロビーに季節の花を飾ったりし、カーテンの調節や温度の調節に努めている	玄関を入ると広いリビング兼食堂は明るく、テーブルとソファを置きゆったり過ごせる。ホーム内には市の文化祭に出品した利用者の作品や、習字を飾っている。周辺は畑で騒音は無く、静かであり、作物で季節の移り変わりが理解でき、開放的である。換気には注意を払い、嫌な匂いは無い。利用者の希望を取り入れ温度調整を行っている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関やロビーに椅子・ソファを配置し座ってテレビ視聴やおしゃべりができるようにしている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家で使っていたタンス等持ち込んでもらっている	それぞれの利用者で居室の状況は大きく変化があるが、居室に机を持ち込み習字の学習に励む人や、写真や人形を飾り、好きなテレビを見たり、日中はリビングで過ごし、寝室的に居室を使用する等、その人が過ごしやすい方法で居室を活用している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下に手すりをつけたり配慮本人の力に合わせた支援を行っている		